

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和5年10月17日(火)	確認目的	福島県廃炉安全監視協議会によるALPS処理水の第2回放出状況の確認(放出13日目)	
確認箇所	K4タンクエリア、多核種移送設備建屋、5、6号機敷地護岸ヤード、放水立坑			
確認設備	<input checked="" type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input checked="" type="checkbox"/> 移送設備	<input checked="" type="checkbox"/> 希釈設備	<input type="checkbox"/> その他
確認結果	<p>「令和5年度第3回福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会」による現地調査を実施し、専門委員、関係自治体と共に2回目のALPS処理水の放出が行われているALPS処理水希釈放出設備の状況を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京電力の説明を受けながら、K4タンクエリアの測定・確認用タンク、多核種移送設備建屋内の処理水移送ポンプ、5・6号機東側電気品建屋内の緊急遮断弁、及び5・6号機敷地護岸ヤードの放水立坑(上流水槽、下流水槽)等の状況を確認した。(写真1) 東京電力によると、今年度は4回の放出を計画しており、第3回目は測定・確認用タンクA群を対象とし、第4回目は、K4タンクエリアE群及びK3タンクエリアA群のALPS処理水を測定・確認用タンクB群に移送して放出する計画とのことであった。 			
				
	(写真1-1) K4タンクエリアの確認状況	(写真1-2) 処理水移送ポンプ及び処理水移送配管等の確認状況		
				
(写真1-3) 放水立坑(上流水槽)、海水配管等の確認状況				